

2021年4月1日

「頑張る」という言葉の意味

公益財団法人 国際通貨研究所
専務理事 藤末 浩昭

世相を反映してか、「コロナに負けずに頑張ろう」といった具合に「頑張る」という言葉が巷に氾濫しているように思う。そもそも「頑張る」という言葉には、日本語特有の曖昧さのもとに、ひたすらに忍耐を美化する傾向がないか。この言葉はどこからどのように来て、我々に何を語りかけているのだろうか。その歴史を振り返りながら、言葉の意味を検証してみたい。

「頑張る」という言葉には、広辞苑によると①我意を張り通す、②どこまでも忍耐して努力する、③ある場所を占めて動かない、という三つの意味があるとされる。①の「我に張る」という本来の表現が転じて、②や③の意味が派生していったようである。

特に、②の「どこまでも忍耐して努力する」という意味の「頑張る」は、日清・日露戦争の頃からよく使われるようになったとの見解がある。さらに、ある研究によれば¹、戦前の新聞記事を検索すると、②のような、強い意志の表明や他者の命令を伴う働きかけとしての「頑張る」は、第二次大戦の戦雲漂い始めた 1930 年代に使われ始め、1935 年頃から急増しているという。その例としては、1936 年ベルリンオリンピック実況中継での「前畑ガンバレ！」や、1940 年以降戦時下での「国民決意の標語」などが想起される。

この文脈を辿っていくと、「頑張る」の命令的な多用は、日本を破滅的な敗戦に導いた根拠なき確信とも深く関わっているように思う。第二次大戦中の火力や補給を軽視した日本軍の無謀な作戦の数々は、結局は「頑張ればなんとかなる」という思い込みが根底にあったのではないか。

「頑張る」という言葉は、このように社会情勢とともに変遷し、厳しかった時代の中かで広く使われてきたが、今日では②の「どこまでも耐えて努力する」という意味での用法が定着している。この言葉が、こうした具体性を欠いた曖昧な表現として使われる

¹ 播磨桂子、『「頑張る」という言葉－語義・用法、価値の変化』、梅光学院大学（2016）

ようになった結果として、気を付けなければならない問題が多く生じているように思う。

まず、「頑張れ」と言われても、一体何のために何をどのように努力することが求められているのか、判然としないことである。米国のファウチ博士なら「コロナに負けずに頑張ろう」ではなく、「感染防止のためにマスクを着用し、手洗いを励行し、ソーシャルディスタンスを取ろう」ときちんと説明するだろう。

次に、「頑張れ」と言われた本人が「頑張ろう」と思っても何をすればよいのか分からなかったり、本人は既に十分「頑張っているのに評価されていないと感じたりして、プレッシャーやストレスを生んでしまうことである。そうしたストレスは、「頑張れ」と言われた人にうつ病を惹起する要因になりうるとの説もある。

最後に、「頑張る」は英語に翻訳困難である。Do your best, good luck, fingers crossed, go for it, give it a go, keep it upなどは、ある特定の行動について「最善を尽くす」、「幸運を祈る」、「まずはやってみよう」という意味であり、特定の行動を前提としない「頑張る」にはフィットしない。一番妥当な訳語は Take it easy である、との説があるが²、気ままに「肩の力を抜いていこう」というポジティブな意味に転化できる、気のきいた訳語ではないだろうか。

この言葉が背負った歴史と、その意味が孕んでいるこうした問題を考えるとき、「頑張る」という言葉は、我々に対して、伝えたいことを分かりやすく表現すること、伝える相手を思いやることの大切さを語りかけているように思われるのである。翻ってみれば、我々はあえて「頑張る」とは言わずに、他の言葉で言い換えてみるのも良いのではないか。

(IIMA メールマガジンへの寄稿)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2021 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話 : 03-3510-0882 (代)

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>

² 寺澤芳男、「スピーチの奥義」光文社新書 (2011)